



第44回 鉄構塗装技術討論会 開催のご案内

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

協 賛

(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁建設協会
(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 (一社)日本鉄鋼協会
(一社)日本塗装技術協会 (一社)日本塗料工業会
(一社)日本防錆技術協会 (一財)日本塗料検査協会
(公社)腐食防食学会 (公財)スガウエザリング技術振興財団

■本討論会は土木学会認定 CPD プログラムです。

[認定番号：1月13日 JSCE-●・1月14日 JSCE-●]



新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、各国では外出禁止や出入国制限等の措置を余儀なくされ、人々の消費や生産活動が停滞するなど、経済的にも深刻な影響が生じています。その一方で、わが国では南海トラフ地震や首都直下型地震等の大規模地震の発生確率が高まっている上に、気候変動の影響により豪雨等の自然災害が激甚化・頻発化しており、防災・減災への取り組みは待ったなしの状況となっています。

インフラ構造物は人々の命や暮らしを守り、社会・経済活動を支える重要な社会基盤であり、災害時にもその機能を発揮することが求められます。これらの多くは高度経済成長期以降に集中的に整備されており、今後、建設から50年以上経過する老朽化施設が加速度的に増加していきますが、老朽化によるインフラの機能不全を招かぬためには、平時から計画的に維持管理・更新を進めていかなければなりません。このことから、インフラ構造物の維持管理・更新の生産性向上や高度化、効率化に資する技術への期待はますます高まっており、鋼構造物を腐食から守る防食技術が担う役割は今後一層大きくなるものと思われまます。

各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって鋼材の防錆防食技術として適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

本討論会は、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように、鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。次頁の要領にて開催いたしますので、ふるってご参加くださいますよう、また、関係各位へのご連絡ともども宜しくお願いいたします。

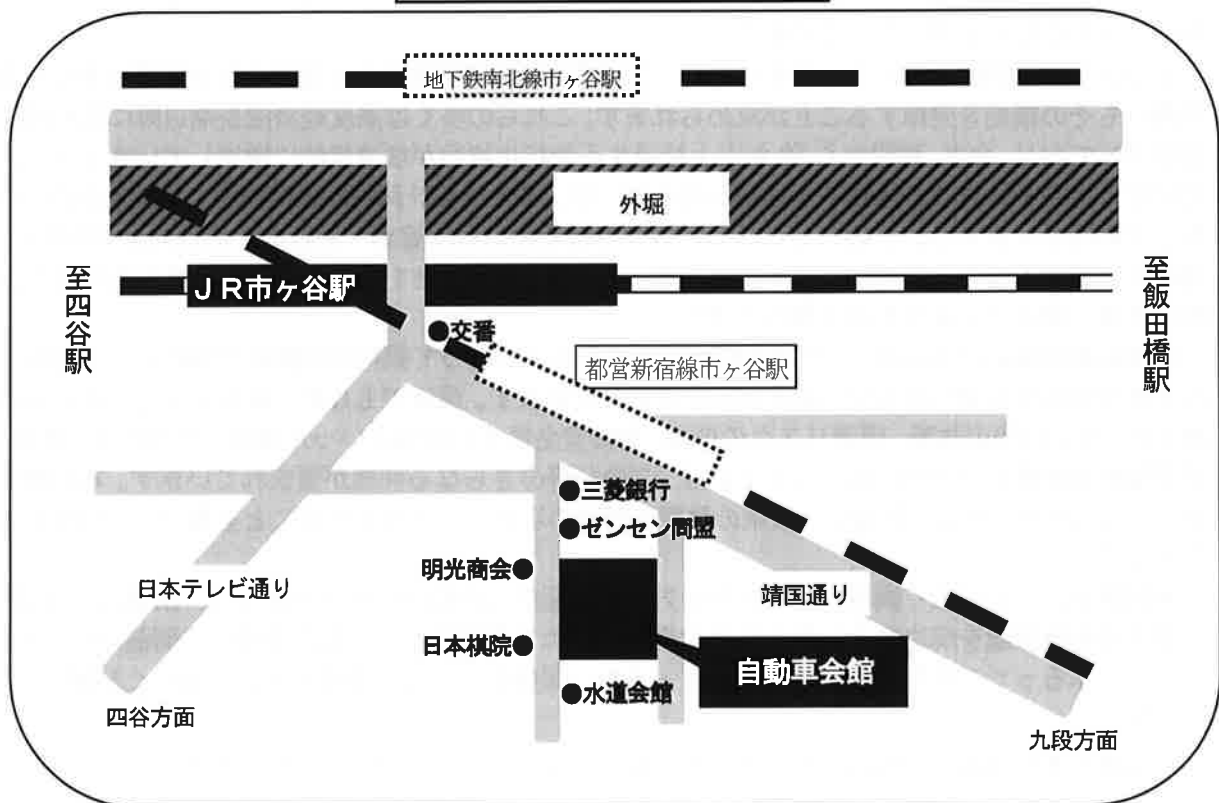
今年度も本討論会へ多数の御参加をいただきますよう、宜しくお願いいたします。

鉄構塗装技術討論会実行委員長：富山 禎仁（鋼構造物塗装小委員会委員長）

開催要領

1. 日 時：2022年1月13日(木)～14日(金)
2. 会 場：自動車会館 2階 大会議室
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 (電話) 03-3264-4719
3. 参加費：会員(協賛団体も含む)…10,000円(消費税、発表予稿集代込み)
(予定) 一般 …13,000円(//)
官公庁職員・学生 …10,000円(//)
4. 申込方法：下記よりお申込下さい。
未定
(当日発表者、委員会委員は申込方法が異なりますので、別途ご案内致します。)
申込期日は●月●日(●)とします。
※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しは致しませんので
ご注意ください。(後日、討論会発表予稿集を送付させていただきます。)
5. 問合せ先：一般社団法人日本鋼構造協会「第44回鉄構塗装技術討論会」係
【E-mail: jssc-paint@jssc.or.jp】
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 アミノ酸会館ビル 3階
TEL. 03-3516-2155

会場案内図



【第1日】 1月13日 (木)

10:00~10:05	開会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 委員長：富山 禎仁 ((国研) 土木研究所)	
-------------	------	--	--

司 会：鈴木 慧 ((公財) 鉄道総合技術研究所)

①	10:05 ~ 10:35	塗膜の線膨張係数に着目した剥離抑制型塗料の開発動向と今後の展望	○西森修次 (株) 四国総合研究所	大捕秀基 (株) 四国総合研究所 坂口聡彦 (株) 四国総合研究所
②	10:35 ~ 11:05	構造解析を用いた塗膜の剥離評価に関する基礎的検討	○服部雅史 (株) 高速道路総合技術研究所	西森修次 (株) 四国総合研究所 坂口聡彦 (株) 四国総合研究所
③	11:05 ~ 11:35	高遮断性を有する剥離抑制型変性エポキシ樹脂塗料の開発 (続報)	○山内健一郎 (大日本塗料株)	加藤瑞樹 (大日本塗料株) 清水悠平 (大日本塗料株) 坂口聡彦 (株) 四国総合研究所 大捕秀基 (株) 四国総合研究所 西森修次 (株) 四国総合研究所

< 昼 休：11時35分~12時50分 >

特 別 講 演		(司 会：富山 禎仁 (前掲))
12:50~13:50	調整中	

< 休 憩：13時50分~14時05分 >

司 会：藤城 正樹 (日本ペイント株)				
④	14:05 ~ 14:35	自動塗装機を用いた均一膜厚試験体の作製手法の検討	○坂本達朗 (公財) 鉄道総合技術研究所	鈴木 慧 (公財) 鉄道総合技術研究所
⑤	14:35 ~ 15:05	赤外線を用いた膜厚評価に関する基礎的検討	○鈴木 慧 (公財) 鉄道総合技術研究所	坂本達朗 (公財) 鉄道総合技術研究所

< 休 憩：15時05分~15時20分 >

司 会：松本 洋明 (日鉄防食株)				
⑥	15:20 ~ 15:50	耐候性鋼材の塗装による補修方法の検討—暴露15年後の調査結果—	○富山禎仁 (国研) 土木研究所	島袋智尋 ((国研) 土木研究所) 石川隆士 (日本ペイント株) 太田優輝 (関西ペイント株) 小林泰之 (中国塗料株) 田代 稔 (神東塗料株) 尾田 光 (大日本塗料株)
⑧	15:50 ~ 16:20	常温金属溶射システムMS工法におけるアルミニウム・マグネシウム合金溶射	○新井彰悟 (大日本塗料株)	松本剛司 (大日本塗料株) 松野英則 (大日本塗料株)

(懇親会は中止とする)

【第2日】 1月14日（金）

司会：大庭 哲也（日本ファブテック株）

⑨	10:00 ～ 10:30	鋼構造物塗装の VOC 削減に関する検討 (I) —水性塗料の適用性検討 (その 11) —	○島袋智尋 ((国研) 土木研究所)	富山禎仁((国研) 土木研究所) 太田優輝(関西ペイント株) 小林泰之(中国塗料株) 尾田 光(大日本塗料株) 石川隆士(日本ペイント株) 田代 稔(神東塗料株) 黒目裕樹(株トウベ)
⑩	10:30 ～ 11:00	寒冷地用塗装系の耐久性に関する検討 —寒冷地用塗装系の屋外暴露 10 年目試験結果—	○石川隆士 (日本ペイント株)	富山禎仁((国研) 土木研究所) 林田 宏((国研) 土木研究所) 田代 稔(神東塗料株) 定石圭司(大日本塗料株) 太田優輝(関西ペイント株) 小林泰之(中国塗料株)
⑪	11:00 ～ 11:30	30 年曝露試験片の詳細分析	○尾知修平 (AGC株)	笹原大輔(AGC株) 笹原 潔(AGC株)

< 昼 休 : 11 時 30 分 ~ 12 時 45 分 >

特 別 講 演

(司会：坂本 達朗 ((公財) 鉄道総合技術研究所))

12:45~13:45	調整中	
-------------	-----	--

< 休 憩 : 13 時 45 分 ~ 14 時 00 分 >

司会：井合 雄一 (株 I H I)

⑫	14:00 ～ 14:30	誘導加熱による塗膜剥離工法を用いた C 系塗替え 塗装の腐食劣化特性に関する基礎的検討	○山浦明洋 (株横河ブリッジ)	安藤聡一郎(株横河ブリッジ) 笹嶋 純司(株横河ブリッジ) ホールディングス) 白水 晃生(株横河ブリッジ) 北根 安雄(京都大学)
⑬	14:30 ～ 15:00	米国道路橋塗装工事に於いて注目したい新しい 2, 3 の動き	○片脇清士 合同会社管理技術	
15:00~15:05	閉会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 幹事長：坂本 達朗 (前掲)		